

## 1 全般状況

1学年から3学年まで共学の生徒となり、本格的に共学校としての浜松聖星高等学校が始まった年度であった。部活動のガイドラインの導入など、働き方改革がすすめられるが、定着には時間がかかる結果となった。年度後半には勤怠管理や生徒の欠席連絡にアプリを使用するなど校務のIT化が進められた。

## 2 事業概要

## (1) 定員、生徒数、教職員数等

## ア 入学定員等

普通課程 修業年限 3年

入学定員 175名(1, 2, 3年)

## イ 生徒数(令和2年3月31日現在)

学年	募集人数	在籍生徒数	備考
1年	175	207	平成31年度入学生(共学化3年目)
2年	175	186	平成30年度入学生(共学化2年目)
3年	175	230	平成29年度入学生(共学化1年目)
合計	525	623	

## ウ 教職員数(令和2年3月31日現在)

校長1 教頭1 教諭26 養護教諭1 常勤講師4 事務職員5 ALT1(計39名)

非常勤講師19 非常勤カウンセラー1 非常勤職員3 司書1 (計24名)

総計 63名

## (2) 募集活動

《令和2年度入試結果》

- ・受験者内訳 男子151名 女子 426名
- ・入学者内訳 男子49名 女子127名 国際教養コース126名 国際特進コース50名
- ・夏のオープンスクール2回(参加者数442人)、秋のオープンスクール2回(参加者数369人)、入試説明会(参加者数413人)のほか、中学校へ出向いての出張授業を行った。

### (3) 学校評価

関係者の協力を得て、様々な貴重な意見を頂いた。

学校関係者評価は、保護者アンケートと共にホームページ上に公開する。

### (4) 学習指導 進路指導

ア 進学状況は例年より厳しい状況であった。来年度の入試システム改変の影響で、AO入試や推薦入試の倍率が上がったこと、一般入試でも手堅い出願傾向があり、本校生徒が多く受験する中堅私大の倍率が高くなったことが要因である。

AO・推薦での国公立受験者は12名。合格者は公募で3名（静岡大学2名、農林環境専門職大学1名）、一般入試では2名（山口大学1名 静岡文化芸術大学1名）であった。

難関私大の合格者は上智2名、南山8名、青山1名、津田塾1名、立命館1名、中央1名であった。

初めての男子受験生はやはり理工学系への進学者の増加が特徴的であった。南山大学、中央大学、神奈川大学等の工学部へ合格した。

イ 就職では、18名の就職希望者全員が就職をした。

ウ PG(学習オリエンテーション)は昨年と同様、時間割の中で実施した。

エ PT(朝学習の時間)は廃止。英単語テストなどは継続。

オ 夏期補講は、前期・中期・後期に38の講座に、延べ1087名の生徒が参加した。

(3年:17講座292人、2年:11講座273人、1年:10講座322人)

カ ICT研究会の先生方を中心に、ICTを利用した研究授業が多く行われた。

### (5) 教育課程

従来の「総合的な学習の時間」が2019年度入学生から「総合的な探求の時間」へと変更となった。

2022年実施の新学習指導要領を先取りするものだが、再来年のカリキュラム変更を前に、今カリキュラムを動かすことは難しいため、「宗教」のなかで探求活動を行うこととなった。

### (6) 奉仕活動

今年度から始まった「スピノラ・プロジェクト」の一環としてカトリック浜松教会で行われている「学習支援」の活動に参加することとなった。23名の生徒が参加した。

### (7) 国際交流

ア 今年度留学生はカナダ8名、イギリス1名、オーストラリア6名。他にロータリークラブを利用したスペイン留学が1名。

イ 夏のアメリカ研修には14名の生徒(1年7人、2年5人、3年2人)が参加。

ウ 数年ぶりに海外からの留学生を迎えた。アンドレス・サイモンさんは令和元年9月から令和2年7月までの留学予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で3月末での帰国となった。

エ 「スピノラ・プロジェクト」の一環として「スペイン語講座」を開設。10名の生徒が参加した。

## (8) 部活動

多くの部活動が活発に活動し、好成績を上げている。

- ・佐鳴湖グラウンドが完成し、男子サッカー部の活動が安定、試合での得点できる場面が増えた。
- ・吹奏楽部は5年連続、全日本吹奏楽コンクールに出場、銀賞を受賞した。
- ・女子テニス部山内音葉が高校総体県西部9位、西部新人戦準優勝、県新人戦ベスト16、東海私立高校テニス大会6位の好成績を上げた。
- ・グローバルイシュー研究会はフェアトレードの活動を通して「全国フェアトレードフォーラム」への参加など活躍の場を広げている。

## (9) 生徒指導

ネット依存スクリーニングテストを実施。生徒のスマートフォン使用を指導する一助となった。

## (10) 学校行事

- ア 創立記念式典では卒業生で情報教育アドバイザーの齋藤美奈さんを招き、お話を伺った。当時の本校では珍しい「理系女子」だった頃の話や読書のススメなどについて語ってくださった。
- イ ベリタスプラザ 晴天に恵まれ、1405名の来校者があった。書道部のパフォーマンス、後夜祭など新しい企画もあり、盛会のうちに終了した。
- ウ 授業参観の折、1年生では保護者対象の進路ガイダンスも同日に行い、全体で180名の保護者の参加があった。
- エ 体育大会 生徒会執行部が新たな種目を提案。盛り上がりを見せた。
- オ 修学旅行 沖縄研修に90人、シンガポール研修に82人が参加。修学旅行直前、見学予定であった首里城が火災で焼失するという出来事があり、見学先を急遽変更した。
- カ スポーツデイは従来の7月実施は熱中症の心配などがあるため、11月に時期を移して実施。
- キ 新型コロナウイルスの流行により、2月末の三年生を送る会は中止、卒業式も在校生は参列せず、時間短縮のため呼名を取りやめ縮小した形で行った。

## (11) その他

- ア 新型コロナウイルス感染症の影響で、3月4日から19日まで休校とした。
- イ 春休み期間中、部活動は2時間に限定され、午前9時から午後3時の中で学校での滞在は3時間までとした。
- ウ 体罰等の報告はない。